

「提案報告書」

1.コース	柏市コース				
2.メンバー					
大学名	学年	名 前	大学名	学年	名 前
江戸川	4	佐藤 創	東洋学園	2	河村 茉実
聖徳	2	佐藤 晴菜	日本橋	4	内田 涼太
中央学院	2	橋爪 智勇	日本橋	1	塔本 夏帆
3.提案するアイデアのタイトル					
『おて宝の国プロジェクト』					
4.提案の理由					
<p>学生部会の事業として、お手玉を使用したセクターを越えた交流企画を提案する。お手玉には様々な可能性がある。日本人なら誰もが知っているお手玉を通じて人々が繋がるキッカケ、年齢・セクター関係なく市民が集まれるコミュニティをつくることを目的とする。</p> <p>また、学生がイベントに参加する動機は様々である。学生のイベント参加率・街への関心の向上、及び大学間交流の機会を設けるために複数のイベントを提案する。学生部会の更なる発展も目的の1つである。</p>					
5.提案の概要					
<p>学生を中心とした複数のイベントを企画する。市内で活動する方々と共に開催し、お手玉を通じて人を繋ぐ事業を展開する。高齢者の居場所づくりとハンドセラピー、新世代が継承遊びを通して学ぶこと、お手玉飾りとアート、ジャグリングとフットバッグなど、様々な企画を行う中でセクターを越えた交流のキッカケが生まれる。</p> <p>また、学生の興味の対象・価値観には個人差があるので、イベントに参加するキッカケを複数設ければ(ボランティア・スポーツ・ものづくりなど)、より多くの学生が興味を持ってくれる。その結果、学生部会がより活気ある団体になり、地域に関心を持つ学生が増え、地域イベントに積極的に参加するようになり、街と学生が協働する街になる。</p>					

6.提案する具体的な事業内容
<ul style="list-style-type: none"> ・学生向け造形ワークショップ(柏おもちゃ図書館かたつむり) ものづくりが、初対面同士の参加者の会話を促進する ・子供向け造形ワークショップ(ネクスファ柏、市内小学校など) 子供達にとっての先生になる体験、異世代交流 ・学生向けジャグリング教室(千葉大 POSSUM) 大学間交流と、熱中の伝播、ジャグリング体験 ・フットバッグ教室(レイソル) レイソル選手による街づくり参加、フットバッグ講習 ・1/2 成人式「感謝の思いをカシワニお手玉に込めて」 カシワニお手玉のデザインと、投げないお手玉の普及
7.期待される効果(目標)
<p>大学の枠を超えた交流が促進され、市内フリースペースの活用や飲食店利用などが増加する。学生の集會が生まれることにより、役所や市民団体との交流が容易となり、様々なコラボイベントが生まれる。</p> <p>高齢者にはハンドセラピーや居場所づくり、子供には異世代との交流から遊びの学習、会社員はスポーツや芸術などの新趣味の発見ができる。お手玉という共通文化ができることによる共同体意識が芽生え、市民一丸となった街づくりを行える。</p>
8.アイデアを作成にあたって、どのような地域調査やヒアリングを行い、どのようなアドバイスを貰いましたか？
<ul style="list-style-type: none"> ・手づくりでの市[柏で活動する・・・を調査] ・柏インフォメーションセンター[お手玉である理由の明確化をディスカッションし、柏で活動しているボランティア団体と裁縫に詳しい人を紹介していただいた] ・かしわおもちゃ図書館カタツムリ[お手玉の作り方とアイデアのヒアリングと多世代交流の楽しさを教わった]
9.その他、PRしたい事などを自由に記載して下さい。
<ul style="list-style-type: none"> ・提案の実現性の証明の為に、実験的に第一回のイベントを企画 [『お手会!』大学生を集め、お手玉作り交流のイベントを実施] ・日本の伝統である、お手玉で外国人イベントも可能 ・市や大学に対して、提案の実現のための協力を得たい

だま おて宝の国プロジェクト

—多世代交流を目指して—

チーム KASHIWA

内田 涼太 塔本 夏帆 佐藤 創
橋爪 智勇 佐藤 晴菜 河村 茉実

全体の流れ

- 現状、問題提起
- 未来像
- お手宝プロジェクト
- 実際にやってみました
- イベントから見えたこと
- 運営、行政や大学に対して

柏市の現状、問題提起

東京へのアクセスの良さ、多くの商店
イベントも豊富、人もたくさん
市民団体も活発、サッカークラブもある
そんな柏の問題点は？



学生の街づくりに参加する意思
セクター間の壁

学生のまち、金沢の事例

金沢まちづくり学生会議



「社長と乾杯」や「まちなか学生まつり」など、**学生による街づくりが盛んに行われている事例**である。大関と金沢工業大学が共同開発した「**学生が飲める日本酒**」が、東京でもレセプションが行われた。

4

～東葛地域の未来像を考えよう～

我々が創造したい未来...

「セクターを越えた街づくり」

そのために・・・

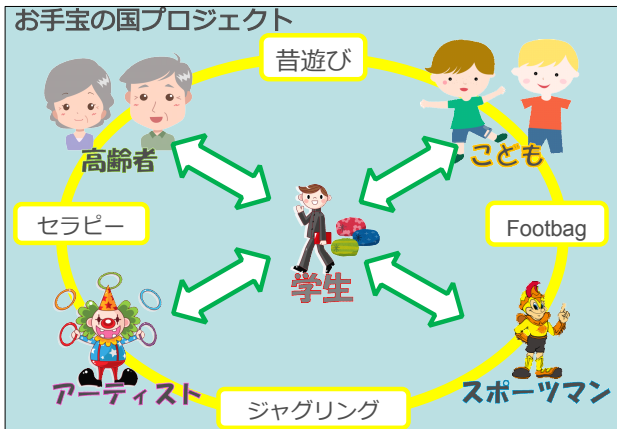
5



お手玉を媒介とした大きなコミュニティ
学生が中心となり様々なイベントを企画
柏市=お手玉の街 というムーブメント

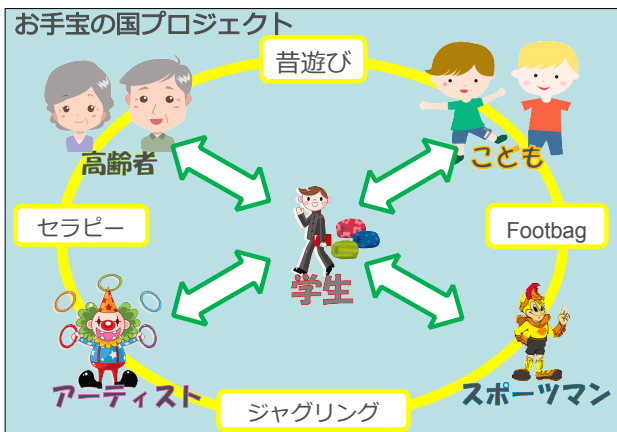


6



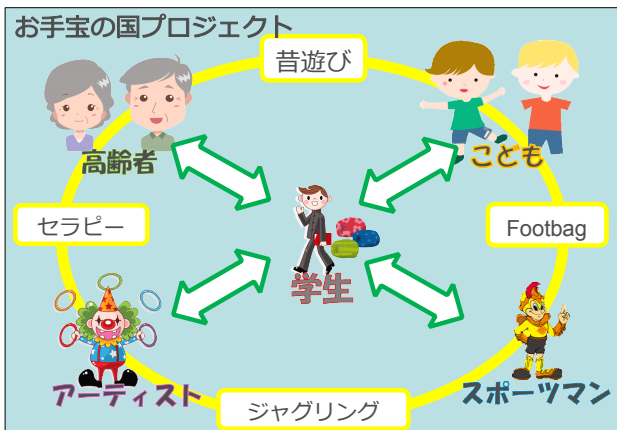
🍡お手玉の理由🍡

- ①手作り可能
- ②日本の伝統
- ③誰でも、どこでも、交流
- ④柏市とのコラボ
(お手玉飾り ⇒カシワニ カブ)



高年齢者×学生×お手玉

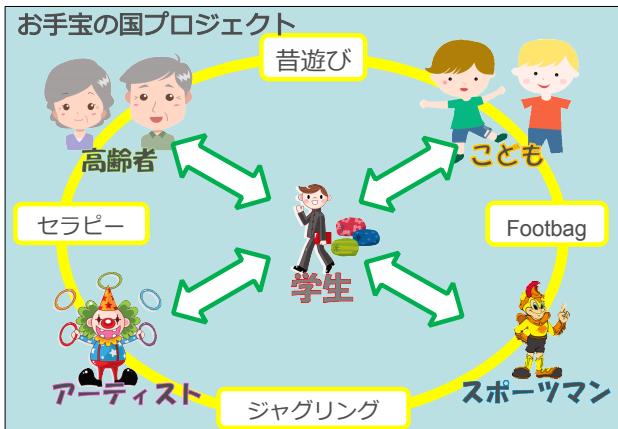
- 企画内容
介護施設でのお手玉交流
- メリット
高年齢者の居場所づくり
ハンドセラピー
ボケ防止
若者と高年齢者の交流



子供×学生×お手玉

- 企画内容
 - ①子供向け造形ワークショップ
 - ②子供向けお手玉遊びイベント
- メリット
手先の器用さや運動神経の発達
柏市を知ってもらう⇒カシワニお手玉





アーティスト×学生×おてだま

アーティスト

ジャグラーの方とコラボレーションすることで、**学生がお手玉に挑戦する機会**を設ける。つくったお手玉を華麗にジャグリングする姿を子どもたちに披露することで、お手玉に**カッコイイ印象**を付ける。

美濃ラーメンどんぶり展のように、アーティスト(美術家)が手掛けたお手玉をアーティスト(ジャグラー)が投げけるようなイベントを企画する。ジャグラーの高度な技術を学び、「**観る楽しさ**」を学習する。

アーティスト×学生×おてだま

アーティスト



・企画内容

①ジャグリングサークルの方とコラボレーション
学生がお手玉に挑戦する機会

子どもたちに、**カッコイイ印象**を付ける

②アーティスト(美術家)が手掛けたお手玉
普通のお手玉 ⇒ 芸術作品
アーティストの高度技術 “**観る楽しさ**”

動

静

アーティスト×学生×おてだま

POSSUM

千葉大学
ジャグリングサークル
部員 100名



アーティスト×学生×お手玉

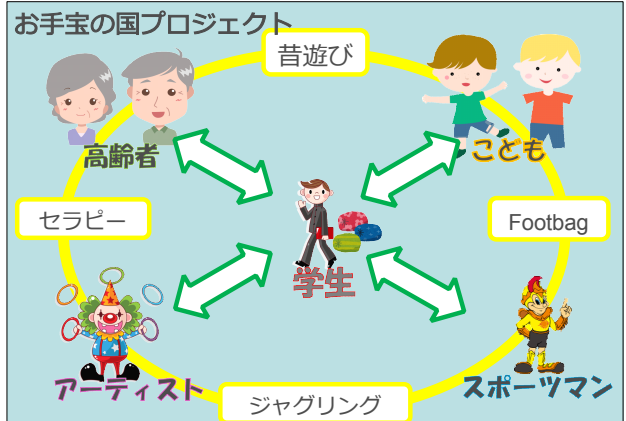
・企画内容

ジャグリング教室

-ジャグリング部の学生⇒子供たちに教える

・メリット

本格的に学ぶことができる
高度な技術による“**観る面白さ**”



スポーツ×学生×お手玉

・ 企画内容

- ①Footbag — 足で行うお手玉
- ②レイソルとのイベント

・ メリット

レイソル人気により集客率倍増
Footbagでスポーツとしての利用



2. おて会！

柏レイソル



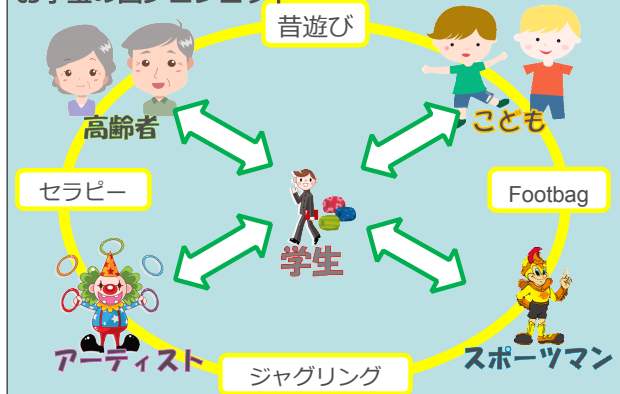
柏レイソルと一緒にフットバッグを行う企画

サッカー好きな学生を募集可能

レイソル選手との交流のフットバッグ選手権

20

お手宝の国プロジェクト



学生×学生×お手玉

・ 企画内容

- ①お手玉作りの学生交流イベント
-お手玉作りを通じた他大学との交流
- ②チャリティお手玉の販売
-柏祭り、手作りての市などで、お手玉の販売
-利益は、寄付

学生×学生×おてだま

企画内容

- ①お手玉作りの学生交流イベント
-お手玉作りを通じた他大学との交流
- ②チャリティお手玉の販売
-柏祭り、手作りての市 お手玉の販売
-利益は寄付（介護施設、特別支援学校）



実際にやってみた

学生×学生×お手玉

柏おもちゃ図書館かたつむり

- ・ボランティアが手作りでおもちゃ作り
- ・障害をもった子供たちが遊べるよう活動



- ・お手玉作りの指導
- ・柏のお手玉のアイデア

学生間の交流



- ・おて会！
- ・2月3日
- ・参加人数：17名
- ・柏市中央公民館

日時：2月3日 14時～16時30分
 内容：学生間交流、お手玉作り
 対象：大学生、専門学校生など20名
 会場：柏市中央公民館4階集客室1号
 参加費：500円（材料費）
 申し込み：氏名、学校名を添えて、以下のアドレスまで、お申し込みください。
 h11025ss@edogawa-u.ac.jp →



おて会！当日の様子

やってみてわかったこと

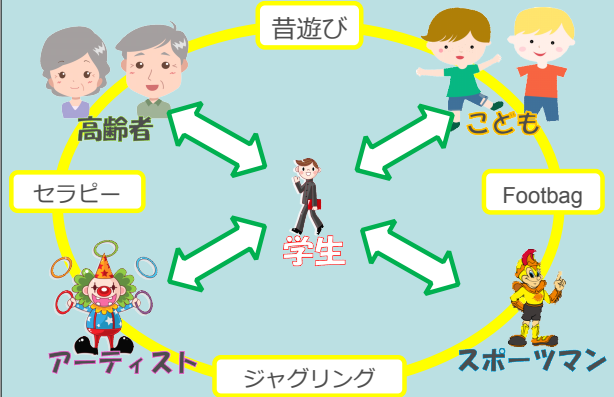


- ◇よかったこと
 - おてたまづくりをしながらの交流が実現
 - 初対面でも話しやすい
- ◇反省点
 - 学生の周知
 - 指導側の不足

おて宝の国 実現の為に

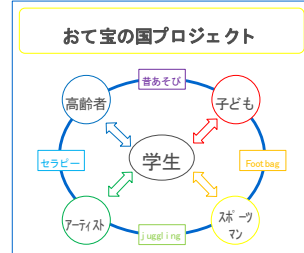
- ・運営案
 - ①学生部会
 - ②柏ボランティアキャンパス
 - ③新たな団体設立(おて部！)
- ・行政に求める事
 - 資金面の援助、場所の提供、人集め、運営補助
- ・大学に求める事
 - 場所の提供、人集め

おて宝の国プロジェクト



2. おて宝の国プロジェクト

今回提案するモデル図である。学生を中心として、セクターを越えた市民がおて宝を通じて集まり、大きなコミュニティーが出来る。



KENDAMA(けんだま)の再ブレイクから、昔遊び(継承遊び)への関心が高まっている。日本人が誰でも知っており、世代を選ばず遊ぶ事ができるお手玉で遊び、セクターを越えた交流を試みる。カシワニデザインのお手玉を制作すれば、柏=お手玉でプロモーション&カシワニの周知に貢献できるのではないか。